



平成31年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年3月13日

上場会社名 アゼアス株式会社

上場取引所 東

コード番号 3161 URL <http://www.azearth.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 良

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務経理部部长 (氏名) 羽場 恒彦

TEL 03-3865-1311

四半期報告書提出予定日 平成31年3月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年4月期第3四半期の連結業績(平成30年5月1日～平成31年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年4月期第3四半期	6,952	2.2	140	0.2	171	7.5	115	9.7
30年4月期第3四半期	6,802	0.3	140	12.9	159	17.6	105	3.0

(注) 包括利益 31年4月期第3四半期 69百万円 (35.0%) 30年4月期第3四半期 106百万円 (49.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年4月期第3四半期	20.60	
30年4月期第3四半期	18.78	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年4月期第3四半期	7,916	5,272	66.6
30年4月期	7,339	5,260	71.7

(参考) 自己資本 31年4月期第3四半期 5,272百万円 30年4月期 5,260百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年4月期		0.00		10.00	10.00
31年4月期		0.00			
31年4月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年4月期の連結業績予想(平成30年5月1日～平成31年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	6.3	282	33.4	294	30.2	177	11.2	31.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年4月期3Q	6,085,401 株	30年4月期	6,085,401 株
期末自己株式数	31年4月期3Q	475,047 株	30年4月期	475,045 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年4月期3Q	5,610,355 株	30年4月期3Q	5,609,935 株

(注) 期末自己株式数には、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式(31年4月期3Q 131,900株、30年4月期 131,900株)が含まれております。また、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(31年4月期3Q 131,900株、30年4月期3Q 132,321株)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(追記情報)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善傾向が継続し、個人消費や設備投資についても回復基調が続く、夏場の地震災害や天候不順の影響もありましたが、景気としては緩やかな拡大が続いています。一方、世界経済は、堅調な成長が持続しましたが、貿易摩擦問題や英国のEU離脱問題等で先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境下、主力事業であります防護服・環境資機材事業の業績が比較的安定して推移した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,952百万円（前年同四半期比2.2%増）、営業利益は140百万円（前年同四半期比0.2%増）、経常利益は171百万円（前年同四半期比7.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は115百万円（前年同四半期比9.7%増）となり、増収増益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

防護服・環境資機材事業におきましては、当社の強みであるタイベック®防護服の市場におけるシェア拡大と新規防護服分野の市場創造に注力してまいりました。この結果、売上高は3,102百万円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益（営業利益）は274百万円（前年同四半期比29.2%増）となり、増収増益となりました。

たたみ資材事業におきましては、畳表等の利益率の確保できる商品の販売に注力しましたが、需要の低迷が続いており、売上高は891百万円（前年同四半期比3.8%減）、セグメント利益（営業利益）は6百万円（前年同四半期比73.5%減）となり、減収減益となりました。

アパレル資材事業におきましては、分野別に主要取引先への販売強化と高付加価値商品の販売の拡大に注力し、売上高は2,223百万円（前年同四半期比4.5%増）と増収になりましたが、原材料費の値上がり分の売価への転嫁が計画通りに進まず、セグメント利益（営業利益）は110百万円（前年同四半期比2.7%減）と減益になりました。

なお、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用は262百万円であります。

(注)「タイベック®」は、米国デュポン社の登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて11.7%増加し6,165百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金等の売上債権が582百万円増加、商品及び製品等の棚卸資産が527百万円増加し、現金及び預金が512百万円減少したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.7%減少し1,750百万円となりました。これは、主として減価償却等により有形固定資産が31百万円減少、投資有価証券の時価評価による減少や保険積立金の満期到来等により投資その他の資産が27百万円減少したためであります。

この結果総資産は、前連結会計年度末に比べて576百万円増加し7,916百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて20.4%増加し2,174百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金等の仕入債務が442百万円増加し、賞与引当金が24百万円減少、その他の流動負債が未払金の減少等により44百万円減少したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて71.5%増加し469百万円となりました。これは、主として長期借入金が212百万円増加したためであります。長期借入金は、既存の社債及び長期借入金の返済に伴い、安定的な運転資金として調達しました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し5,272百万円となりました。これは主として、利益剰余金が58百万円増加し、その他の包括利益累計額が46百万円減少したためであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,637,984	1,125,778
受取手形及び売掛金	2,373,550	2,820,455
電子記録債権	172,711	308,309
商品及び製品	1,135,466	1,645,356
仕掛品	5,028	2,830
原材料	123,235	142,679
その他	95,749	139,765
貸倒引当金	△22,843	△19,531
流動資産合計	5,520,882	6,165,643
固定資産		
有形固定資産	1,395,369	1,363,932
無形固定資産	95,569	86,620
投資その他の資産		
投資有価証券	138,191	118,392
その他	190,425	190,791
貸倒引当金	△502	△8,838
投資その他の資産合計	328,115	300,345
固定資産合計	1,819,053	1,750,898
資産合計	7,339,936	7,916,542
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,167,437	1,607,264
電子記録債務	275,163	278,230
1年内償還予定の社債	60,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	75,000	112,488
未払法人税等	22,433	24,641
賞与引当金	53,700	29,400
その他	151,707	107,538
流動負債合計	1,805,441	2,174,563
固定負債		
社債	15,000	-
長期借入金	37,500	250,014
役員退職慰労引当金	107,480	107,480
役員株式給付引当金	15,880	23,175
退職給付に係る負債	97,651	88,400
固定負債合計	273,512	469,070
負債合計	2,078,953	2,643,634

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成31年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	887,645	887,645
資本剰余金	1,094,103	1,094,103
利益剰余金	3,440,835	3,499,018
自己株式	△266,339	△266,340
株主資本合計	5,156,245	5,214,426
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,156	7,446
繰延ヘッジ損益	9,972	△508
為替換算調整勘定	72,609	51,543
その他の包括利益累計額合計	104,738	58,481
純資産合計	5,260,983	5,272,907
負債純資産合計	7,339,936	7,916,542

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成31年1月31日)
売上高	6,802,507	6,952,638
売上原価	5,538,428	5,651,150
売上総利益	1,264,078	1,301,487
販売費及び一般管理費	1,123,827	1,160,933
営業利益	140,251	140,553
営業外収益		
受取利息	461	661
受取配当金	2,240	2,339
為替差益	231	6,943
助成金収入	6,690	4,000
保険返戻金	-	11,458
その他	10,482	5,877
営業外収益合計	20,105	31,279
営業外費用		
支払利息	1,152	608
その他	76	118
営業外費用合計	1,228	726
経常利益	159,127	171,106
特別損失		
固定資産売却損	145	108
減損損失	107	7
固定資産除却損	0	-
ゴルフ会員権売却損	-	14
特別損失合計	253	129
税金等調整前四半期純利益	158,874	170,976
法人税、住民税及び事業税	16,649	47,639
法人税等調整額	36,824	7,732
法人税等合計	53,473	55,371
四半期純利益	105,400	115,605
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	105,400	115,605

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成31年1月31日)
四半期純利益	105,400	115,605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△218	△14,709
繰延ヘッジ損益	△9,601	△10,480
為替換算調整勘定	11,134	△21,066
その他の包括利益合計	1,313	△46,256
四半期包括利益	106,714	69,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,714	69,348
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年5月1日 至 平成30年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	防護服・ 環境資機材	たたみ 資材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,990,748	926,271	2,127,919	6,044,939	757,567	6,802,507	—	6,802,507
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,275	158	9,002	10,437	65,781	76,218	△76,218	—
計	2,992,024	926,429	2,136,922	6,055,377	823,348	6,878,725	△76,218	6,802,507
セグメント利益	212,709	25,110	113,247	351,067	29,607	380,675	△240,424	140,251

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△2,897千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△237,527千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年5月1日 至 平成31年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	防護服・ 環境資機材	たたみ 資材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,102,036	891,013	2,223,883	6,216,932	735,705	6,952,638	—	6,952,638
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	491	—	6,639	7,131	61,488	68,619	△68,619	—
計	3,102,527	891,013	2,230,523	6,224,064	797,193	7,021,257	△68,619	6,952,638
セグメント利益	274,738	6,655	110,142	391,536	13,439	404,975	△264,421	140,553

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△2,153千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△262,267千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。